



1 社会資本の概要

弘前公園は、弘前市の中心部に位置する、総面積約49万2000平方メートル(約14万9000坪)にも及ぶ公園です。その敷地はもともと、藩政時代に弘前藩10万石を治めた津軽家代々の居城であった、弘前城が基になっています。

園内には、天守をはじめ今も藩政時代の面影を残す櫓や城門などの遺構が残されています。これだけの規模の城郭が史跡ごと、往時の姿を留めつつ

公園として開放されている例は、全国でもあまり見ることがありません。

現在では、春には日本一の呼び声高い桜祭りが、秋にはお濠や天守の白壁も真っ赤に染める紅葉まつりが、そして冬には巨大雪像やミニかまくらも多数作られる雪灯籠まつりが催され、夏に市内を運行するねぶた祭りとあわせて、四季を通じたイベントの舞台となっています。



春の弘前城の様子



さくらまつりの様子(弘前公園)

提供:弘前公園総合情報サイト

2 取組の背景、取組概要と創意工夫

文化財である弘前城本丸を舞台にダンスやパフォーマンスといった現代的なカルチャーを披露すること自体が新しい試みでした。

津軽三味線、津軽笛、ねぶた囃子などの津軽文化とダンスやストリートカルチャーが一堂に会することでクロスオーバーができ、地元クリエイターによって、天守へのプロジェクションマッピングを初めて試みた所、大きな反響を呼び、その後も行われて

います。

津軽の伝統芸能文化、食文化、風景を気を楽しめるとして、海外来場客の人気も高く、弘前の様々なものの認知が一度に上がっていきました。

地元団体の発案で、屋外フェスであえて格闘テレビゲーム大会を開催した所、大変盛り上がり、武術演舞団体との交流も見られました。



弘前城の前でパフォーマンス



津軽三味線の演奏



津軽を堪能できる飲食スペース

3 活動の成果や波及効果等

2019年は、県外や海外からの参加者により約2億2千万円の経済波及効果を創出(総務省産業表による計算)しており、2016年の開催当初から、開催4年で経済波及効果は約6倍に増加しております。また、SHIROFES.をオンラインで世界中に発信しており地元伝統文化の担い手のモチベーション等の向上、認知拡大に大きく貢献しました。SHIROFES.で好成績を得たダンサーが有名企業とスポンサー契約を結ぶことに繋がり、若い世代に1つの可能性を見せれています。



弘前公園に集まる多くの観客



オンラインで世界に発信



全国から集まる来場者



YouTubeの再生回数は55万回を突破

喜びの声



受賞者

ひろさき芸術舞踊実行委員会

コメント

私たちはこれまで、弘前じゃなければできないことに着目し、「弘前から世界へ」「世界から弘前へ」をテーマにSHIROFES.を実施してきました。

様々な苦難はありますが、多くの方のご支援・ご協力により事業を継続・発展させることができております。

今後も「世界から弘前へ」繋がるような道を作っていきます。本当にありがとうございました。

活動の内容

- 舞踊による舞台公演の企画、演出、運営
- 芸術舞踊に関わる外部講師の招致、特別講習の開催
- モニタリングツアーの実施

活動の経歴

- 平成24年 ひろさき芸術舞踊実行委員会 設立
- 平成24年 子ども達の芸術舞踊公演 初開催
- 平成25年 ダンス交流文化祭 初開催
- 平成28年 SHIROFES.2016 初開催
- 平成29年 エンターテインメントフェスティバル初開催
- 令和3年 スポーツ文化ツーリズム賞 受賞
- 令和4年 ふるさと大賞 受賞

所在地 青森県弘前市(弘前公園等)

活動主体及び連絡先 ひろさき芸術舞踊実行委員会
TEL:0172-88-6499
E-MAIL:hirosakigeijyutu@gmail.com

対象となる社会資本 弘前公園(弘前城)※管理者:弘前市



手づくり郷土賞について

受賞記念発表会

講評

大賞部門

一般部門

資料編

手づくり郷土賞について

受賞記念発表会

講評

大賞部門

一般部門

資料編